

消防団の活動について

平常時の活動

消火・防災訓練

火災現場での活動を想定した訓練(放水訓練等)を行っています。また、各地域で開催される防災訓練で、自主防災組織などへの訓練指導を行います。



救命講習会

事故や急病の発生時に、救急車が到着するまでの間に行う応急救手当や、AEDの使用方法などを指導する講習会を行います。



防火啓発活動

各家庭を訪問しての防火指導、幼稚園・小学校などの防火教育などの啓発活動を行います。



消防団員は地域における消防防災の要として、平常時・災害時を問わずその地域に密着し、地域の安全・安心を守っています。消火活動はもちろん、地震や風水害などの災害時に避難誘導や警戒活動にあたるとともに、普段は訓練や住民への防火指導などに取り組んでいます。

災害時の活動

消火活動

火災発生時には、自宅や職場から現場に駆け付け、消火活動、後方支援など状況に応じた活動を行います。

救助活動・避難誘導

地域をよく知る立場から、大規模災害発生時に他機関と連携し、救助活動、避難誘導などを行います。

水防活動

台風や豪雨など風水害の際は、河川の水位の警戒、土のうづくり・土のう積みのほか、排水、浸水防止などを行います。